

研究成果情報 1

[成果情報名] フジザクラ系 LW と D (サクラ 203) との組合せ

[要約] 当場の LW (フジザクラ×W (イワテハヤチネ系統・ナガラヨーク系統・フジヨーク系統)) とデュロック種のサクラ 203 との組合せでは、総合的な産肉成績である上物率が高い値を示した。

[キーワード] フジザクラ・LW・デュロック種

[担当] 山梨畜試・養豚科

[連絡先] 055-273-6441

[区分] 関東東海北陸農業・中小家畜

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

当場は、本県系統豚「フジザクラ」を県内農家に対して払い下げているが、そのフジザクラをベースに、大ヨークシャー種及びデュロック種を交配し肉豚を生産する場合、国等の系統豚との最適な交配組合せについて検定を行うことで、生産性の向上を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 出荷日齢、枝肉重量、一日平均増体重、背脂肪厚、背腰長Ⅱ及びと体幅は、LWとDの組合せの間に有意な差は認められなかった。
2. 総合的な産肉成績となる上物率は、LWとサクラ203 (D2) との組合せで65.8%と、他の組合せに比べて高いという有意な差が認められた。
3. サクラ203 (D2) は、3系統どのLWとの組合せでも、高い上物率を示していた。
4. LWとゼンノーデー01 (D4) との組合せでは、上物率が51.2%と、LWとサクラ203との組合せに次いで高い値を示した。しかし、サクラ201 (D1) 及びフジロック (D3) との組合せとの間に有意な差は認められなかった。

[成果の活用面・留意点]

1. 出荷は適正日齢、適正重量を厳守する。

[具体的データ]

表1 産肉成績

組合せ	頭数 (頭)	出荷日齢 (日)	枝肉重量 (kg)	一日平均 増体重(g)	背脂肪厚 (cm)	背腰長Ⅱ (cm)	と体幅 (cm)	上物率 (%)
LW1×D1	22	173.9	75.9	672.8	2.5	72.2	33.8	45.5
LW2×	36	183.3	76.2	627.3	2.8	71.8	33.6	44.4
LW3×	11	182.6	74.5	622.1	2.1	72.5	33.9	36.4
LW×D1	69	180.2	75.8	641.0	2.6	72.0	33.7	43.5
LW1×D2	37	182.6	75.6	626.3	2.8	71.8	33.4	64.9
LW2×	15	169.2	75.7	672.1	2.8	73.3	32.9	60.0
LW3×	21	183.9	75.9	616.3	2.6	71.9	33.0	71.4
LW×D2	73	180.2	75.7	632.8	2.7	72.1	33.2	65.8
LW1×D3	74	182.5	75.5	634.9	2.5	71.7	33.4	47.3
LW2×	22	183.5	76.0	624.7	2.7	71.2	33.5	50.0
LW3×	10	178.7	73.8	640.6	2.8	71.4	33.2	60.0
LW×D3	106	182.4	75.4	633.3	2.6	71.5	33.4	49.1
LW1×D4	51	182.5	76.2	623.9	2.5	71.8	34.1	49.0
LW2×	34	176.1	76.5	647.5	2.8	72.1	33.0	44.1
LW3×	40	177.2	76.2	639.2	2.6	72.1	33.2	60.0
LW×D4	125	179.0	76.3	635.2	2.6	72.0	33.6	51.2

※・LW1:イワテハヤチネ(W)系 LW2:ナガラヨーク(W)系 LW3:フジヨーク(W)系  
 ・D1:サクラ201 D2:サクラ203 D3:フジロック D4:ゼンノーデー01  
 ・一日平均増体重は、便宜上出荷時生体重を、出荷日齢で除した。  
 ・背脂肪厚は肩・背・腰の平均値とした。

[その他]

研究課題名: 系統豚「フジザクラ」の組合せ検定

予算区分: 県単

研究期間: 平成2年度～

研究担当者: 金高弘志・石田昌弘・赤尾友雪・浅川一満

発表論文等: 山梨県畜産試験場研究報告掲載予定